

## 半年を振り返って

長谷川明弘

「心理学をやろう！」と期待を胸にして入学してきたのは今日(10月10日)から丁度半年前の4月10日、そのころから考えると、もう半年なんてあつと言う間でした。僕は、授業の合間にはいつも心理学科生の自習室である3222にきていることが多い。そして昼になると第2食堂かその下のロータスへ仲間で食べに行く、そんな毎日がつづくからかな…。でも充実していると感じるのは居心地がいい(もちろん心科研の仲間がいい)からであらう。ここにいていろいろな話(たまには？心理学のことも)をしていてなんか討論会っぽくなっていたのを感じたり。この人はこんな考えであんなひとかなと思ったら全く違っていたとか(これはどこのサークルでもありますよね)、心科研の人だけでなく今は卒論に忙しい4回生の人達とも出会えて、自分の3年後のことも想像してみたりといろいろな人達に出会えて大変良い。よかったら是非顔を出してみてください。(最後は、なんか”心科研へのお誘い”のようになってしまった。)

### 書誌情報

長谷川明弘 (1991) 半年を振り返って CO- з н а н и е (サ・ズナーニエ)  
愛知学院大学心理科学研究会  
1991年11月3日発行,34頁

### 愛知学院大学心理科学研究会(通称 心科研)

自主ゼミ形式で心理学を学ぼうとする心理学科の有志が集まったサークルで第2期入学生が立ち上げたようだ。伝え聞くとところによれば、2001年以降は、公認サークルとなっているようだ。

CO- з н а н и е (サ・ズナーニエ)とは、ロシア語で「共に学ぼう」という意味である。

心科研が大学祭の研究発表を行う際の研究誌として毎年発刊していた。

2011年現在は発行されているか不明である。

私が入学したときには、心科研に芸人の「つぶやきシロー」氏が3回生に在籍しておられた。CO- з н а н и е (サ・ズナーニエ)にも卒業前に書いておられる。ちなみに私とはゼミも同じで研究テーマが類似していたことを後日指導教員である酒井先生から伺った。